

情報公開文書

研究の名称	原発性開放隅角緑内障と落屑緑内障に対するEx-Press®挿入3年後における角膜内皮密度減少の比較
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院 眼科 林 篤志
研究の概要	<p>【研究対象者】 2013年5月から2018年6月までの期間に富山大学医学部附属病院で初めてEx-Press®挿入を受け、3年以上追跡可能な原発性開放隅角緑内障、落屑緑内障患者さん</p> <p>【研究の目的・意義】 Ex-Press®シヤントは緑内障手術用の濾過装置であり、日本では2011年12月に使用が承認されております。角膜内皮細胞は角膜の透明性を維持しております。角膜内皮細胞の減少による持続的な角膜浮腫（「水疱性角膜症」と呼ばれる）は、Ex-Press®手術の濾過手術の重大な潜在的合併症の一つですが、Ex-Press®手術後の角膜内皮細胞減少に関する知見は、様々な緑内障タイプでまちまちです。原発開放隅角緑内障と落屑緑内障の患者間で、Ex-Press®手術後の角膜内皮細胞密度減少を比較します。原発開放隅角緑内障と落屑緑内障に対するEx-Press®挿入3年後における角膜内皮密度減少を比較検討することで、今後どのようなタイプの緑内障が角膜内皮密度の減少を起こしやすいかを知ることができます。その結果をもって今後、Ex-Press®挿入を行う患者に対して内皮減少リスクを説明することができます。</p> <p>【研究の方法】 患者さんの診療録から角膜内皮細胞密度、視力、眼圧、点眼スコアを後ろ向きに調査します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ~ 2025年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 論文掲載を予定しています。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>主要評価項目：Ex-Press®挿入後の3年の角膜内皮密度</p> <p>副次的評価項目：視力、眼圧、点眼スコア</p> <p>他機関への情報の提供：無</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関におけ	研究責任者：富山大学附属病院 眼科 教授 林 篤志

る研究責任者氏名)	
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 眼科医局 076-434-7363 FAX 076 - 434 - 5037 E-mail otsuka@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院眼科 大塚光哉 研究対象者等からの相談窓口 電話対応